

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科

保健体育 科目 保健

教科：保健体育

科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第 2 学年 M1 組～ C1 組

教科担当者：（M1組：高島）（F1組：高島）（F2組：高島）（C1組：高島）（組： ）（組： ）

使用教科書：（新高等保健体育

）

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】様々な運動の種類を経験する。運動の効果を理解する。各運動ができるようになる。

【思考力、判断力、表現力等】運動の方法を理解する。効果を理解する。運動の内容を理解して実施できるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】進んで運動を理解し効果を理解する。

科目 保健

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとする態度を身に付けさせる。	○指導事項 ・思春期と健康 ・性意識の変化と性行動の選択 ・結婚生活と健康 ・妊娠・出産と健康 ・家族計画 ・加齢と健康 ・高齢社会に対応した取り組み ・働くことと健康 ・労働災害と健康 ・働く人の健康づくり ○教材 ・『新高等保健体育』（大修館書店） ・プレゼンテーションソフト ○一人1 台端末の活用 ・課題の配信と提出	【知識・技能】 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	11
	確認テスト			○	○		1
2 学 期	単元 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとする態度を身に付けさせる。	○指導事項 ・働くことと健康 ・労働災害と健康 ・働く人の健康づくり ○教材 ・『新高等保健体育』（大修館書店） ・プレゼンテーションソフト ○一人1 台端末の活用 ・課題の配信と提出	【知識・技能】 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	単元 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であること。また、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 健康を支える環境づくりに関する学習に主体的に取り組もうとする態度を身に付けさせる。	○指導事項 ・大気汚染と健康 ・水質汚濁・土壌汚染と健康 ・健康被害を防ぐための環境対策 ・環境衛生に関わる活動 ○教材 ・『新高等保健体育』（大修館書店） ・プレゼンテーションソフト ○一人1 台端末の活用 ・課題の配信と提出	【知識・技能】 自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であること。また、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であることを理解している。 【思考・判断・表現】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康を支える環境づくりに関する学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	確認テスト			○	○		1
3 学 期	単元 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であること。また、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 健康を支える環境づくりに関する学習に主体的に取り組もうとする態度を身に付けさせる。	○指導事項 ・食品の安全性と健康 ・食品の安全性を確保する取り組み ・保健制度とその活用 ・医療制度とその活用 ・医薬品の制度とその活用 ・様々な保健活動や対策 ・誰もが健康に過ごせる社会に向けた健康づくり ○教材 ・『新高等保健体育』（大修館書店） ・プレゼンテーションソフト ○一人1 台端末の活用 ・課題の配信と提出	【知識・技能】 自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であること。また、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であることを理解している。 【思考・判断・表現】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康を支える環境づくりに関する学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	確認テスト			○	○		1
				○	○		合計 35